

おかしいぞ  
こんなにくらしが  
苦しいときに…



議員報酬

議員定数

655万円増  
7削減

日本共産党 名古屋市議団

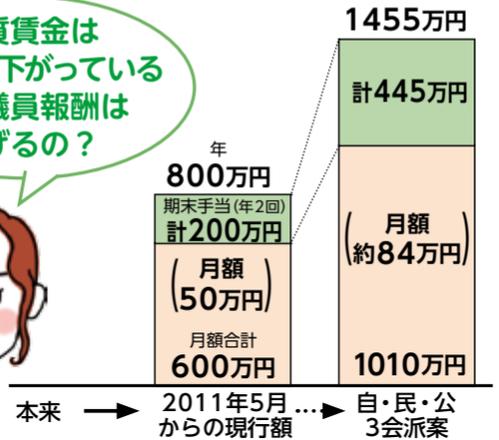
議員報酬

## 勝手に決めるな！ 自・民・公が655万円の増額を提案

自民・民主・公明3会派は、現状の議員報酬を年間で655万円増額を主張し、自らの議員報酬を引き上げる条例案を2月議会に提出するかまです。

日本共産党は、市議選で示された民意は変わっておらず、引き続き報酬800万円の維持を求めています。

実質賃金は  
4年連続下がっている  
のに議員報酬は  
あげるの？



※名古屋市議員の報酬は条例上、年約1630万円。2011年の市議選後、報酬を「当面の間」年800万円にする特例条例が全会一致で可決されている。

議員定数

## 定数削減は報酬あげる 為の方便では？

自民・民主・公明は現状の75議席から7減、減税日本は10減を主張。定数削減は新たな死票を生み、多様な意見を排除することになります。民意を反映させる議席は必要です。

日本共産党は、民意を削ることになる議員定数の削減に反対し、現状定数維持を求めています。

名古屋市議会基本条例に議員定数について「各層の多様な民意を市政に反映させるために必要な人数を確保」としてしています。



(中日夕刊2/8)

## 市民不在の議会「改悪」ストップ！ 市民の声を聞きなさい

2015年市議選アンケート(中日15/4/2)では、自民党と民主党の多くの候補が報酬について、審議会や第三者機関に検討を委ねると回答。民意を聞く努力を尽くさず、お手盛りで報酬を引き上げることは許されません。

名古屋市議会基本条例では、議員報酬や議員定数を定める時には、「民意を聴取するため、参考人制度、公聴会制度等を活用することができる」としてしています。

報酬や定数を審議するのなら、まずしっかりと市民の声を聞くべきです。皆様のご意見をお寄せください。

河村市長は、議員報酬「引き上げるなら、立証責任がある」(朝日2/2)、「納税者に声を上げてほしい」(朝日2/6)という態度にとどまっています。「新年度予算案には名古屋城天守閣の木造復元などこだわる事業もあり、議会との対決は避けたい」(朝日2/6)との報道も。

